



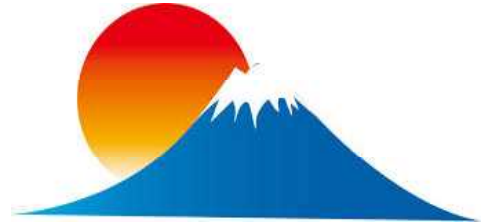
松 風

松林中学校学校便り
令和3年1月13日

第12号

新しい年

令和3年がスタートしました。緊急事態宣言がいよいよ7日に発出されました。宣言期間中は、1・2年生は休日の部活動がなくなるなど、やはり我慢を余儀なくされることが多くなると思います。一人一人が感染防止に努力し、1日でも早く沈静化されることを願ってやみません。先日の文書でお伝えしたとおり、感染レベルが「レベル1」から「レベル2」に引き上げられました。本校でも、学校生活全般を通して感染症対策にしっかり取り組んでまいります。



さて、中学校では1年間の総まとめの時期でもあります。これからの3か月間は、1年間の学習のまとめを行う時期です。卒業式などの行事もあり、慌ただしい中での3か月間ですが、生徒たちが落ち着いて学習活動や様々な活動に取り組んでいけるような雰囲気を学校全体でつくっていきたいと思います。3年生は、いよいよ入試と3月11日には卒業式（卒業証書授与式）が控えています。式の形等につきましては、詳細が決まり次第連絡いたします。

今後新型コロナウイルス感染拡大の影響で先行きが見通せませんが、保護者のみなさま、地域のみなさまには、本年も昨年同様、温かいご支援とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

校長面接実施

今月中旬から下旬にかけて私立高校や公立高校の出願が始まります。3年生にとっては、いよいよ本格的な入試の時期を迎えることになりました。この冬休みは勉強はもちろん面接の練習にも時間を費やしたのではないのでしょうか。11月上旬から実施してきました「校長面接」は、174名の3年生のうち120名を超える生徒と面接することができました。どの生徒も、とても緊張した面持ちで校長室に入ってきます。面接時間は8分くらいで、後の7分で反省点やアドバイスを送ったりしています。わずか15分程度の面接ですが、普段接することがあまりない3年生との会話が、たいへん有意義で楽しい時間となっています。様々な質問をする中で『あなたが通っている中学校はどんな学校ですか』と質問すると、「緑が豊かな学校」、「先生と生徒が仲が良い」という答えがほとんどでした。3年生一人一人が、中学校卒業後の進路決定に向けてしっかり頑張りたいと願っています。受験（受検）を乗り越え、感動の卒業式を迎えましょう。

新学習指導要領について

令和3年度より、中学校では新しい学習指導要領が実施されます。後日、新学習指導要領における「これからの学習評価」として県教育委員会子ども教育支援課が発行したものを配付する予定です。資料にも書かれていますが、「学習指導要領」とは、全国どこの学校でも一定の教育水準が保てるよう、文部科学省が定めている教育課程（カリキュラム）の基準です。およそ10年に1度、改訂されています。授業の時間割などは、これを基に作成します。本校でも、新学習指導要領によって、教育課程を編成し、指導と評価の計画を立てています。

校内書き初め展



校内で書き初めを廊下に掲示しました。金賞・銀賞・銅賞受賞者が決まりました。金賞受賞者を発表いたします。

- 1年生 課題『将来の夢』
 - ・1組 1名 ・2組 1名
 - ・3組 1名 ・4組 1名
 - ・5組 1名 ・6組 1名
- 2年生 課題『新たな目標』
 - ・1組 2名 ・3組 1名
 - ・4組 1名 ・5組 1名
- 3年生 課題『無限の可能性』
 - ・1組 1名 ・2組 2名
 - ・3組 2名 ・5組 1名

全校集会について

1月6日の1校時の最初に、放送にて生徒のみなさんに伝えました。その内容を一部ご紹介いたします。

○松林中学校の生徒のみなさん、明けましておめでとうございます。

さて、新しい年を迎えました。3年生は、卒業式まで後2ヶ月、その前に4月からの大切な進路選択があります。2年生は最上級生になるための準備。1年生は後輩を迎える準備とそれぞれの学年がまとめの時期に入りました。

そのような中、約7ヶ月後には、2020年に延期になった東京オリンピック・パラリンピックが行われます。オリンピックは33競技339種目が行われ、参加する国と地域は206、選手は1万人を超えます。パラリンピックは22競技539種目が行われ、参加する国や地域はオリンピックと同じ206、選手は約4千人の予定です。大きくは個人種目で記録や得点を競うもの、集団種目で対戦相手との勝敗を争うものに分かれます。どの競技にも夢を持ち、努力を重ね、国や地域の代表となった選手たちが参加します。本当に素晴らしい、尊敬すべき憧れの選手たちです。今から、活躍を見ることが楽しみです。

スポーツマンとは、スポーツをする人という意味ですが、「よき仲間」という意味もあると聞いたことがあります。競い合う相手や対戦相手がいるからその試合ができる。その相手が強いほど勝ったときの喜びは大きい。対戦相手や審判、ルールを大切に守り尊重できる人。そうゆう人を「よき仲間」「スポーツマン」と考えれば、スポーツをするかどうかに関係なく、「スポーツマン」には誰もがなれると思います。互いに互いを尊重できる「スポーツマン」になりたいものです。

新型コロナウイルスの感染拡大の状況は、12月24日にお話した時よりもさらに悪化しています。国による緊急事態宣言も発令が確実視されています。神奈川県医師会の会長さんは、新聞で「外出などの自粛は自分を守るためではなく、誰かを守るためにやるべきこと。若い人を中心に意識してほしい。」と述べていました。今後も、その影響で予想もしなかったことが起こりえるかも知れません。松林中生一人一人その場にあった正しい判断と冷静な行動をとってください。

そして晴れて、東京オリンピックが予定通り実施され、国民みんなが笑顔で応援できる時が迎えられるよう願っています。